

会 員 通 信・News and comments

江上信雄先生のご逝去を悼む

Memories of Dr. Nobuo Egami (1925-1989)

長い間、日本魚類学会の評議員 (1972-1989)、編集委員 (1972-1980) の任にあられた東京大学名誉教授江上信雄博士が平成元年 10 月 17 日に 64 才の若さでお亡くなりになりました。先生の御逝去についてはすでに「生物科学ニュース」や「遺伝」などに報じられておりますので、ここでは主として本学会とのかかわりについて紹介させていただきます。

先生は大正 14 年 1 月 5 日金沢で出生、旧制第八高等学校 (現在の名古屋大学) から東京帝国大学へ進学、



The late Dr. Nobuo Egami

昭和 22 年 9 月に理学部動物学科を卒業されました。その後、東大の助手、講師、放射線医学総合研究所の室長、部長となられ、昭和 45 年には再び東大に教授として戻られ、総合研究資料館長や理学部長をもつとめられました。昭和 60 年、山口大学教授になられ一息つく間もなく半年後には国立公害研究所の所長となられ、お亡くなりになられる年まで公務のほか、学会、各種委員会での活動など多忙な毎日を送られました。とくに、1985 年の夏に東京で開催された第 2 回太平洋・インド洋の魚類に関する国際研究会議では組織委員として本学会に貢献されました。

先生には体の不調が原因で一昨年 7 月に公害研を退官され、精密検査を受けられた時には、すでに取り返しのつかないほど大腸部のガンが発達していたそうです。

先生はこのような病状を承知の上で、入院されるまでの 10 カ月ほどの間に、270 篇以上におよぶ論文の全体像を描いた「メダカに学ぶ生物学」を執筆、完成され、また、分類学の振興のための公開シンポジウム「いま、求められるナチュラルヒストリー」(1989 年 5 月 27 日開催) 実現の原動力となられました。昨年 3 月 31 日の日本魚類学会年会での評議員会には、雨もよいの寒い日だったにもかかわらず、顔面そう白、ひと目で異常と拝察される病身をおして、出席されました。2 週間ほど後の 4 月 14 日に東京女子医大の消化器センターに入院され、そのまま不帰の客となられたことを思うと先生の本学会に対する情熱に胸が痛みます。1968 年 4 月 3 日、日本大学水産学科講堂における日本魚類学会設立総会の写真が魚類学雑誌 15 巻 1 号に掲載されておりますが、写真の中央部、最前列、岡田要、岡田弥一郎両先生の間座り正面を見すえていらっしゃる先生の真摯なお姿が昨日のこのように脳裏に浮かんで参ります。

先生が魚類学雑誌に発表されたメダカの腎臓軟条数の変異に関する御研究はメダカの生物地理学的研究としては画期的なもので、先生の研究を基盤として、最近の核型分析や電気泳動法によるタンパク質の分析によるメダカの生物地理的研究が発展して来たと言っても過言ではないと思います。

人間としての先生は大変思いやりがありました。先生の指導を受けた大学院生の時以来、私の知る限り、先生はいつも質素で、また、指導中の学生に対してさえ同等に近い立場で対応されておりました。生前、先生は「ぼくには弟子はいない。だいいち、ぼくは弟子をもつほど偉くはないのだから、みんな、共同研究者なんだよ」と云われていたそうです。私からみれば、いつでも他人のことばかり考えておられ、決して偉ぶらなかった先生のお気持の源は仏弟子としての先生(僧名: 至心院釋信雄)ばかりではなく、この辺にもあった様な気がいたします。

先生の御冥福をお祈り申し上げます。

参 考 資 料

- 江上信雄先生還暦記念事業会編。1985. Fish, radiation and aging. 483 pp. (江上先生の略歴、業績リストが掲載されております。)
- 江上信雄。1953. メダカの腎臓軟条数の変異に関する研究。I. 日本各地産野性メダカの軟条数の変異。魚類学雑誌, 3(1): 33-35; 3(2): 87-89.
- 江上信雄。1954. メダカの腎臓軟条数の変異に関する研

究. II. 鰭條数についての交配実験. 魚類学雑誌, 3(3/5): 171-178.

江上信雄・吉野道仁. 1958. メダカの臀鰭軟条数の変異に関する研究. III. 野性メダカ軟条数の地理的変異(資料の追加). 魚類学雑誌, 7(2/4): 83-88.

江上信雄. 1989. メダカに学ぶ生物学—生命現象のミクロとマクロ—. 中央公論社, 東京, 237 pp.

石居 進. 1989. 江上先生を偲んで. 生物科学ニュース, (217): 19-20.

Kawashima, S., A. Shima and H. A. Bern. 1989. Obituary. Nobuo Egami (1925-1989). Zool. Sci., 6(6): 1041-1044.

並木秀男. 1989. 江上信雄会長逝去. 生物科学ニュース, (216): 7.

清水 長. 1989. 「いま, 求められるナチュラルヒストリー—経済大国, 日本の現状—」傍聴, 感想記. 魚類学雑誌, 36(2): 291-292.

田口泰子. 1989. 江上先生を悼む. 遺伝, 43(12): 70.

田口泰子. 1989. 「江上先生を悼む」. 生物科学ニュース, (217): 18-19.

(新井良一 Ryoichi Arai)

International Association of Fish Ethologists の紹介

会員のみなさんは International Association of Fish Ethologists (略称 IAFE) をご存知だろうか. 1977 年にオランダの Dr. H. Bierhof とベルギーの Dr. M. Nelissen が主宰してつくられた, 世界中に広がっている魚類行動研究者が現在行いつつある研究について迅速に情報を交換しあってお互いの研究の充実に役立てよう

と意図したもので, Newsletter of the International Association of Fish Ethologists という小冊子 (A 5 版, 約 10-20 頁) を年 4-6 冊出してそこに会員からの情報を載せていた. 内容としては現在進行中の研究やすでに得られた研究成果の紹介の他に会員紹介や研究集会の通知等も行ってた. 私自身もアフリカンシクリッドの興味深い行動の観察例を載せたところ反応があり他の研究者との交流に役立った. しかしながらこういう組織は会員それぞれが積極的に活用しようとしないうり全然と言っていいくらい立ちゆかないもので, IAFE の場合も情報交換に対する要求があるにも関わらずその情報がまとまったかたちで寄稿されずに編集者の努力空しく一昨年限りで解散した. ところが昨年になってアメリカの Dr. R. L. Wyman が新たに編集を引き受けることを名乗りでたので継続してやることが可能となった. 現在会員間のホットな情報交換機能をより一層充実させていくべく冊子の編集が行われている. こういう組織は情報交換の網の目が広がるほど充実していくので, 当学会の会員で興味をお持ちの方はぜひ参加してください. なお会費は年間 10 USドルで, 問い合わせ先あるいは会費送付先は以下の通りです.

International Association of Fish Ethologists, c/o E.N. Huyck Preserve, P.O. Box 188, Rensselaerville, New York 12147, U.S.A.

(高村健二 Kenzi Takamura)

会 記・Proceedings

学会賞問題に関する経過報告と会員への呼び掛け

1989 年 11 月 17 日

日本魚類学会会長 上野輝彌

1989 年度第 1 回評議員会から役員会に差し戻された学会賞の実施に関する案件について, 本年度第 3 回 (9 月 7 日)・第 4 回 (10 月 16 日) 役員会において討議して来ました. 討議の中で, この問題に関する審議経過が, これまで一般会員にほとんど公表されて来なかったことが改めて指摘されました. そこでこの機会に, これまでの経過ならびに役員会における賛否両論のありのままを公表し, 併せて会員からの御意見を募ることになりました. 寄せられた御意見は, なるべく多く会員通信に掲載したいと思っておりますが, 同趣旨の御意見が多い場合には, 役員会でとりまとめた結果を掲載することになるかもしれません. よろしく御諒承の上, 学会事務局

(庶務幹事)宛てにお送り下さい. なお, 書式は特に指定いたしません. なるべく簡潔に要点をまとめていただければ幸いです.

(これまでの経過)

1. 1988 年度第 1 回評議員会において, 一評議員より「学会会則に明記された学会賞を実施すべきではないか」との発議があった. 審議する時間的余裕がなかったために, 「翌年度第 1 回評議員の議題として取り上げること」, 及び「この件について検討し, 具体的な議案を作製する作業を役員会に付託すること」が議長から提案され, 承認された.
2. 1988 年度第 1 回役員会において, 「学会賞検討委員会を設置し, 学会賞実施の可否をも含めて検討すること」を決定し, 委員の人選は会長に一任することとした.
3. 1988 年度第 2 回役員会において, 会長から同検